

## ① 移動図書館車の試行運行について

### 移動図書館車導入の目的

「文化的施設や町立図書館大正分館から遠隔地にも図書館サービスが行き渡るように、移動図書館車を導入します。移動図書館車は「移動する小さな図書館」として巡回場所を訪問して本の貸し出しや返却、読書や資料の案内、レファレンスの受付を行い、時には機動力を生かして学校や地域のイベントに参加します。」（「サービス計画」10p）

試行期間：令和5年4月～令和6年3月

### 利用状況

▶統計（令和6年2月29日付）別表1

▶イベント出展（令和5年4月～令和6年2月まで）別表2

- ・子ども教室・高齢者サロンの拠点を中心に巡回している為、利用者の年齢層に偏りがあるが継続的に利用頂いている。
- ・高齢者の方々には近隣の方とのコミュニケーションの機会となっている。
- ・放課後子ども教室では、児童自身が本を選べることが喜ばれている。

図書館情報システムの導入・オンライン・リアルタイム処理開始（令和6年1月～）

- ・図書館情報システム変更に伴い、移動図書館車巡回場所での貸出・返却および資料の検索等オンライン・リアルタイム処理を実現した。
- ・移動図書館車巡回場所で図書館施設の窓口と同等のサービスができるようになった。
- ・職員にとっては帰館後の作業時間削減ができ、業務の効率化が図れた。
- ・一部巡回場所で通信速度障害が発生している。

### 導入の効果

- ・移動図書館車巡回後は図書館本館・大正分館の貸出人数・貸出冊数も増加傾向にあり、四万十町全体の図書館利用増、読書人口増に貢献している。
- ・移動図書館車が町内を巡回していることで図書館や読書への親しみが増している。

試行運行の結果 ➡ 令和6年度から移動図書館車の本格運行に移行する

### 今後の課題

- ・移動図書館車の拠点館について（文化的施設整備事業中止の影響）  
⇒拠点館の検討（本館が最適なのか）：カーポート設置、職員配置など
- ・「小さな図書館」としての機能強化